

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月10日

計画の名称	赤穂市における循環のみちの実現(4)(防災・安全)											
計画の期間	令和07年度 ~ 令和11年度(5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	赤穂市											
計画の目標	下水道施設の改築更新、耐震化及び耐水化を行い、災害に強い都市を作ると共に、安全安心な市民生活の確保を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,252	A	3,252	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R7当初	中間目標値 R9末	最終目標値 R11末
1	浸水対策整備率を95%(R7)から96%(R11)に増加させる。 公共下水道による浸水対策整備率 浸水対策完了済み面積(ha) / 浸水対策整備計画面積(ha)(1,189ha)	95%	95%	96%
2	総合地震対策実施率(管渠)の実施率を17%(R7)から18%(R11)に増加させる。 総合地震対策実施率(管渠) 地震対策済管渠延長(km) / 地震対策計画管渠延長(1km)	17%	17%	18%
3	総合地震対策実施率(施設)の実施率を30%(R7)から50%(R11)に増加させる。 総合地震対策実施率(施設) 地震対策済施設数(箇所) / 地震対策計画施設数(30箇所)	30%	43%	50%
4	下水道施設の耐水化率を66%(R7)から70%(R11)に増加させる。 下水道施設の耐水化率 耐水化対策済施設数(箇所) / 耐水化対策施設数(30箇所)	66%	66%	70%
5	第2期ストックマネジメント計画に基づく確実な施設整備を図る。 ストックマネジメント計画に基づく施設の整備率 主要機器の整備済施設数(箇所) / 計画期間内に改築・更新が必要な主要施設(13箇所)	0%	76%	100%
6	早期に雨水管理総合計画を策定し、浸水対策事業の進捗を図る。 雨水管理総合計画の策定 雨水管理総合計画策定(計画) / 雨水管理総合計画策定(1計画)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	ポンプ場	改築	塩屋ポンプ場外	建築、土木、機械及び電気設備の改築	赤穂市						48	-	
	A07-002	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	終末処理場	改築	赤穂下水管理センター	機械及び電気設備の改築	赤穂市						1,287	-	
	A07-003	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	終末処理場	改築	赤穂下水管理センター	耐震補強	赤穂市						157	-	
	A07-004	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	ポンプ場	改築	加里屋中継ポンプ場外	機械及び電気設備の改築	赤穂市						620	-	
	A07-005	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	ポンプ場	改築	加里屋中継ポンプ場外	耐震補強	赤穂市						121	-	
	A07-006	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	ポンプ場	改築	加里屋中継ポンプ場外	施設の耐水化	赤穂市						40	-	

A 基幹事業

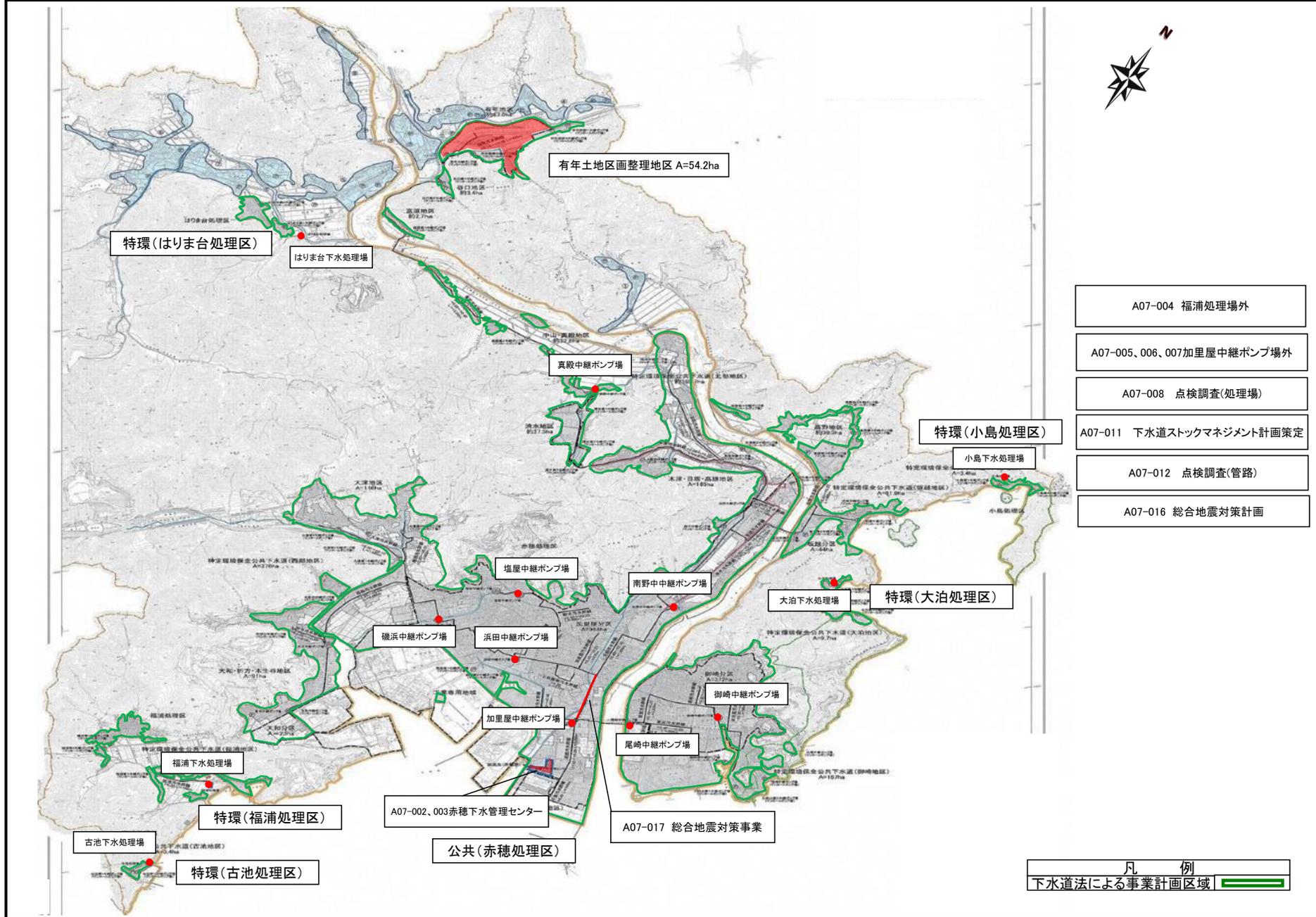
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-007	下水道	一般	赤穂市	間接	赤穂市	管渠(雨水)	新設	雨水貯留タンク助成	雨水貯留タンク設置の助成	赤穂市						2	-	
	A07-008	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	終末処理場	改築	福浦処理場外	電気設備の改築	赤穂市						161	-	
	A07-009	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	管渠(雨水)	新設	有年排水区(雨水渠)	雨水渠A=4.1ha	赤穂市						242	-	
	A07-010	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	-	-	雨水管理総合計画	計画策定業務	赤穂市						100	-	
	A07-011	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	終末処理場	改築	下水道ストックマネジメント計画策定	計画策定	赤穂市						40	-	
	A07-012	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	-	改築	総合地震対策事業	計画の策定	赤穂市						102	-	
	A07-013	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	終末処理場	改築	点検調査	設備の点検調査	赤穂市						56	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-014	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	ポンプ場	改築	点検調査	設備の点検調査	赤穂市						56	-	
	A07-015	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	管渠(汚水)	改築	点検調査	管路の点検調査	赤穂市						48	-	
	A07-016	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	管渠(雨水)	新設	御崎第2排水区(雨水渠)	雨水渠A=6.3ha	赤穂市						90	-	
	A07-017	下水道	一般	赤穂市	直接	赤穂市	管渠(汚水)	改築	総合地震対策事業	管路の耐震化対策	赤穂市						82	-	
												小計						3,252	
												合計						3,252	

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

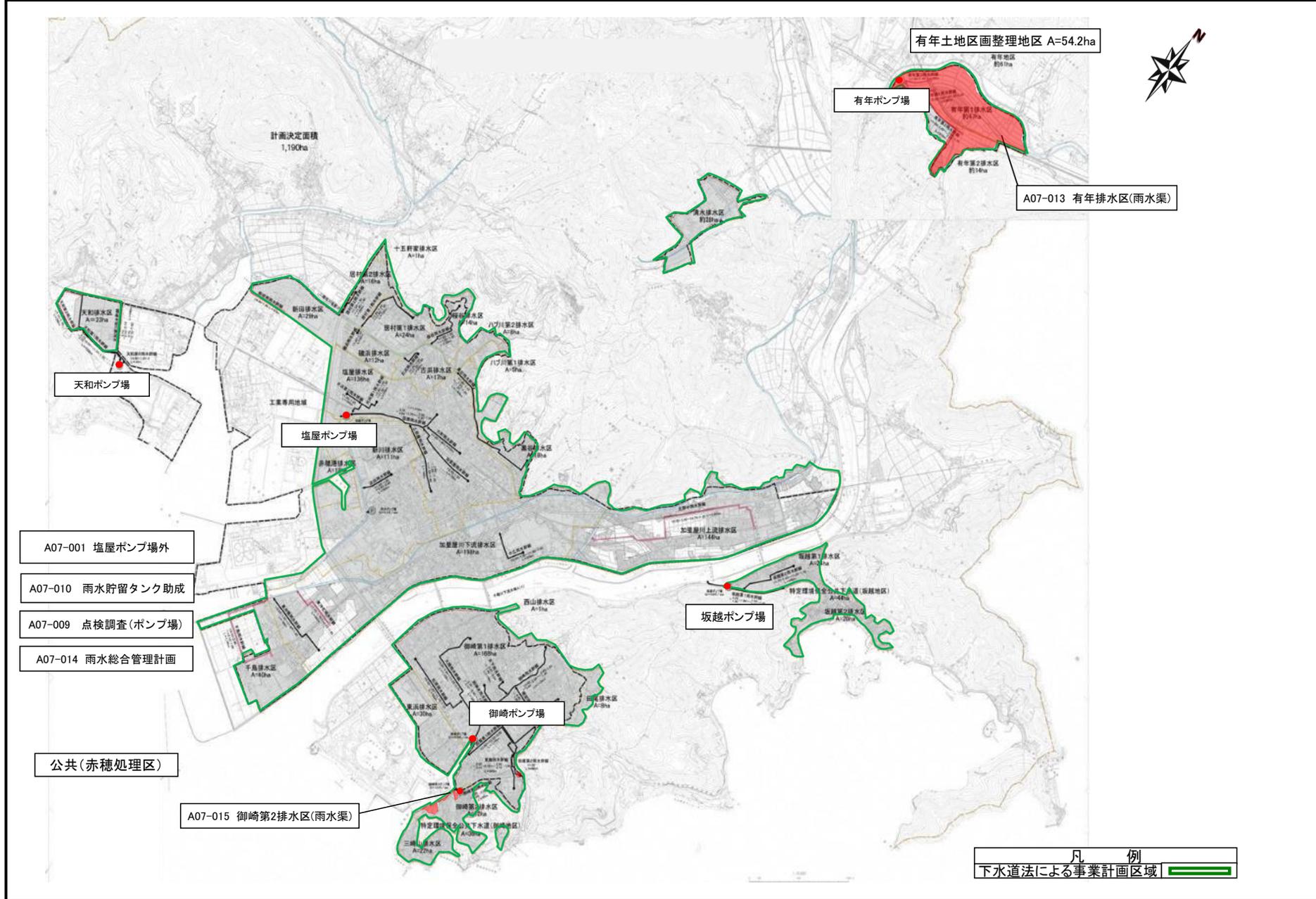
計画の名称	赤穂市における循環のみちの実現(4)(防災・安全)		
計画の期間	令和7年度～令和11年度(5年間)	交付対象	赤穂市



- A07-004 福浦処理場外
- A07-005, 006, 007加里屋中継ポンプ場外
- A07-008 点検調査(処理場)
- A07-011 下水道ストックマネジメント計画策定
- A07-012 点検調査(管路)
- A07-016 総合地震対策計画

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	赤穂市における循環のみちの実現(4) (防災・安全)		
計画の期間	令和7年度～令和11年度(5年間)	交付対象	赤穂市



A07-001 塩屋ポンプ場外

A07-010 雨水貯留タンク助成

A07-009 点検調査(ポンプ場)

A07-014 雨水総合管理計画

公共(赤穂処理区)

A07-015 御崎第2排水区(雨水渠)

凡 例
下水道法による事業計画区域

事前評価チェックシート

計画の名称： 赤穂市における循環のみちの実現（４）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性 2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備個所の位置づけが高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の習熟度が高い。	○
I. 目標の妥当性 円滑な事業執行の環境 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○